

水難事故ゼロを目指して

神奈川大学

大竹ゼミナール チームP

小菅修斗 麻尾紗希 朝倉健太 竹村美穂 中本実香子

目次

- ・緒言（研究背景・目的・方法）
- ・現状（文献調査・調査結果）
- ・政策提言（短期的、長期的 2つの側面からの提言）
- ・まとめ
- ・参考文献

水難事故の定義

緒言

本研究で扱う水難事故は、
海や川などでのレジャー(釣りや水遊び)
において、溺死・行方不明または
その寸前で救助された出来事を指す。

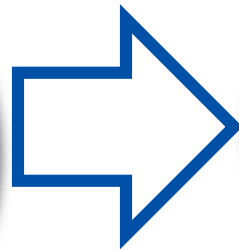
※ 船舶事故、大雨、高潮、津波等の災害事故は
含めない。



水難事故を他人事のように考えていないだろうか。

しかし一方で、
水は恐ろしいものでもある。

~~規則によって
水質を改善する
ことに努める~~



水辺の利用者に
自発的に自助意識
を持たせる

- ・ 文献調査

 - 平成26年中における水難の概況(警察庁)

 - 平成26年度 釣り中の事故発生状況(海上保安庁)

- ・ インタビュー調査

 - 「自然塾 光」の辻駒哲司代表(9月7日)

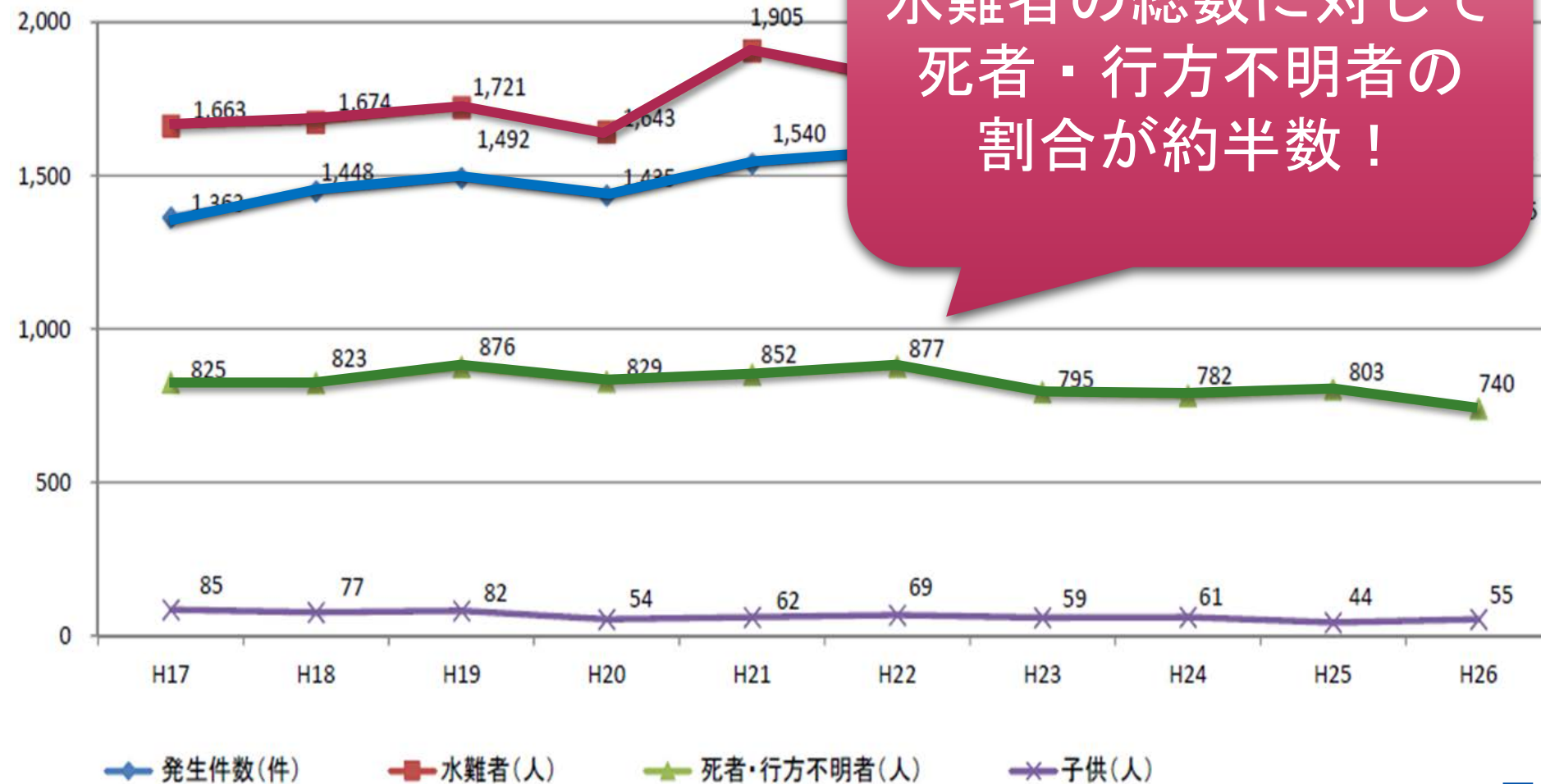
- ・ 事例調査

 - 河川財団、B&G財団、海外の取り組み事例

水難事故の現状

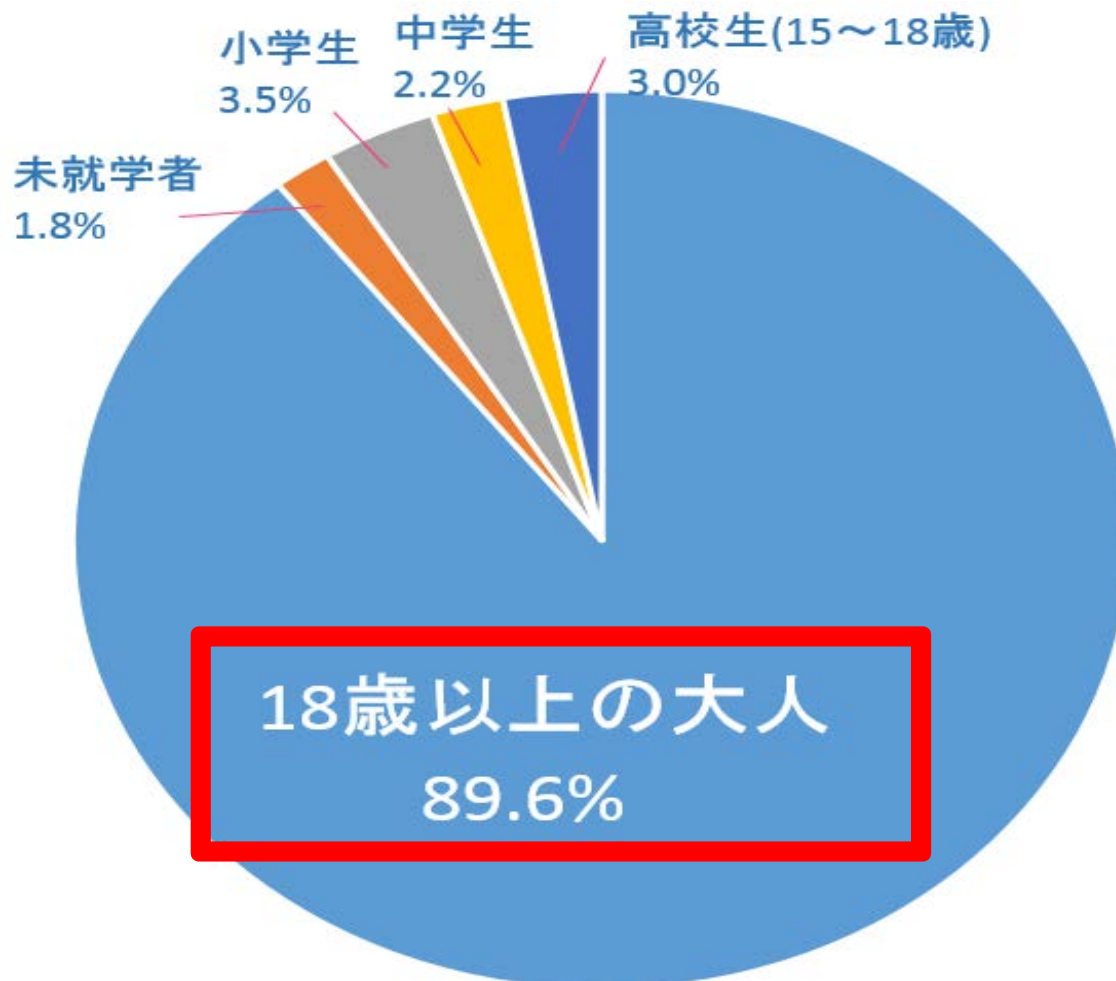
現状

水難者の総数に対して
死者・行方不明者の
割合が約半数！



死者・行方不明者(年齢層別)

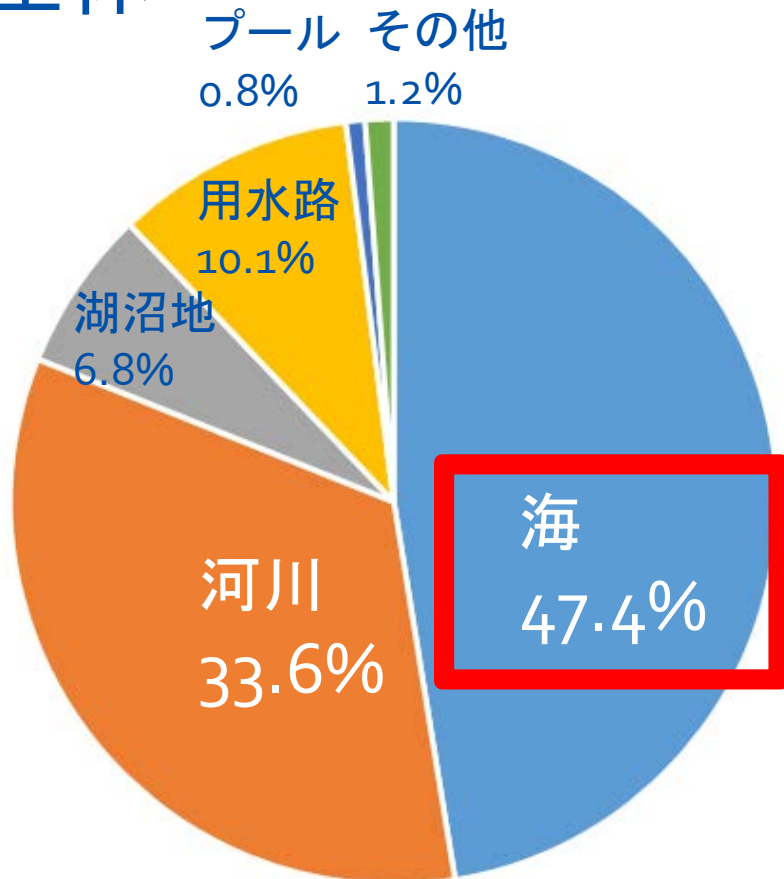
現状



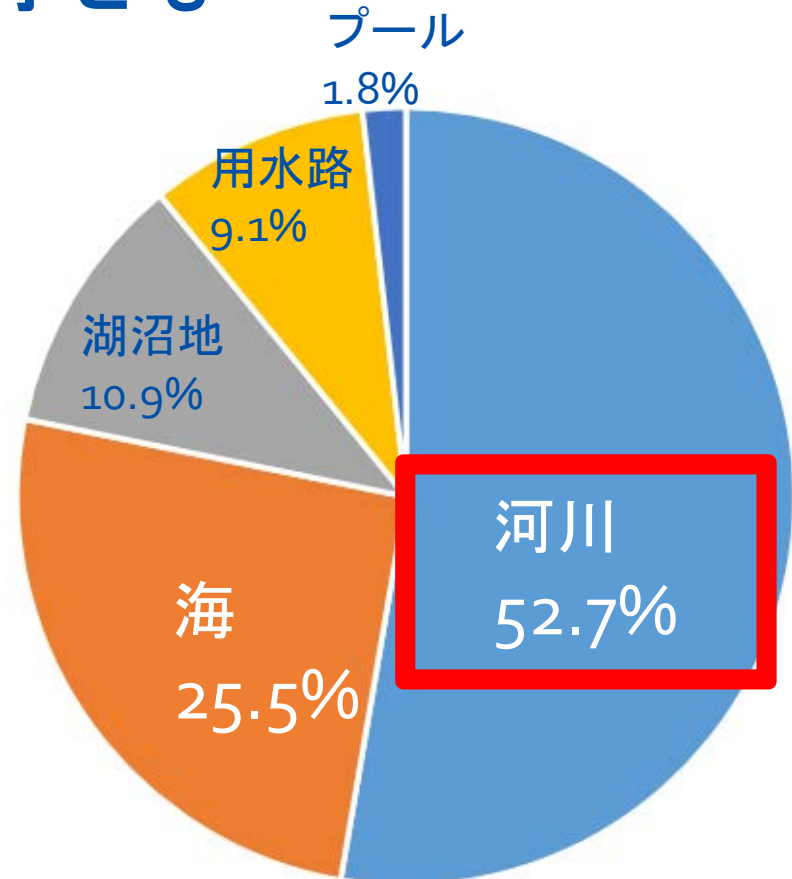
死者・行方不明者(場所別)

現状

全体

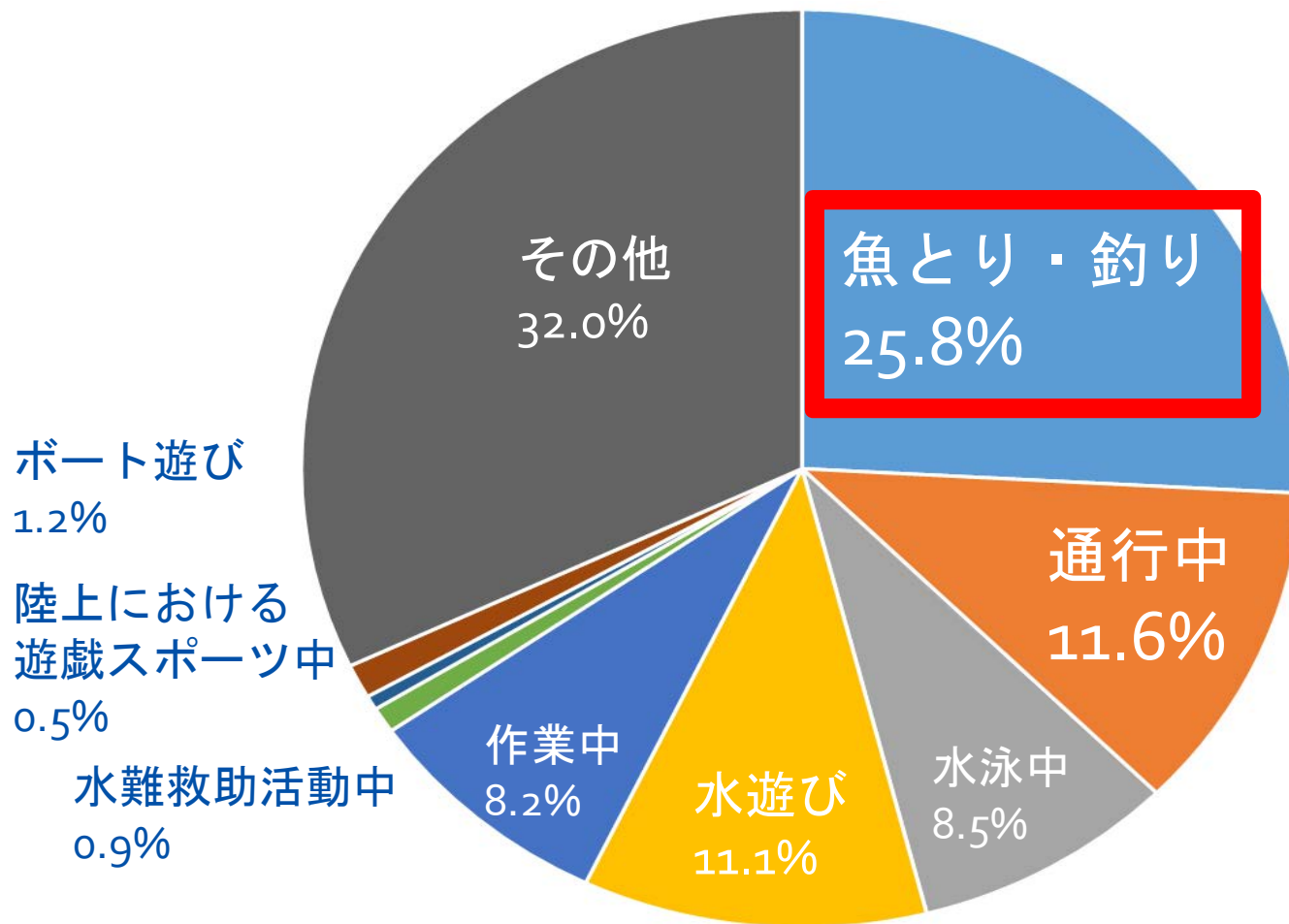


子ども



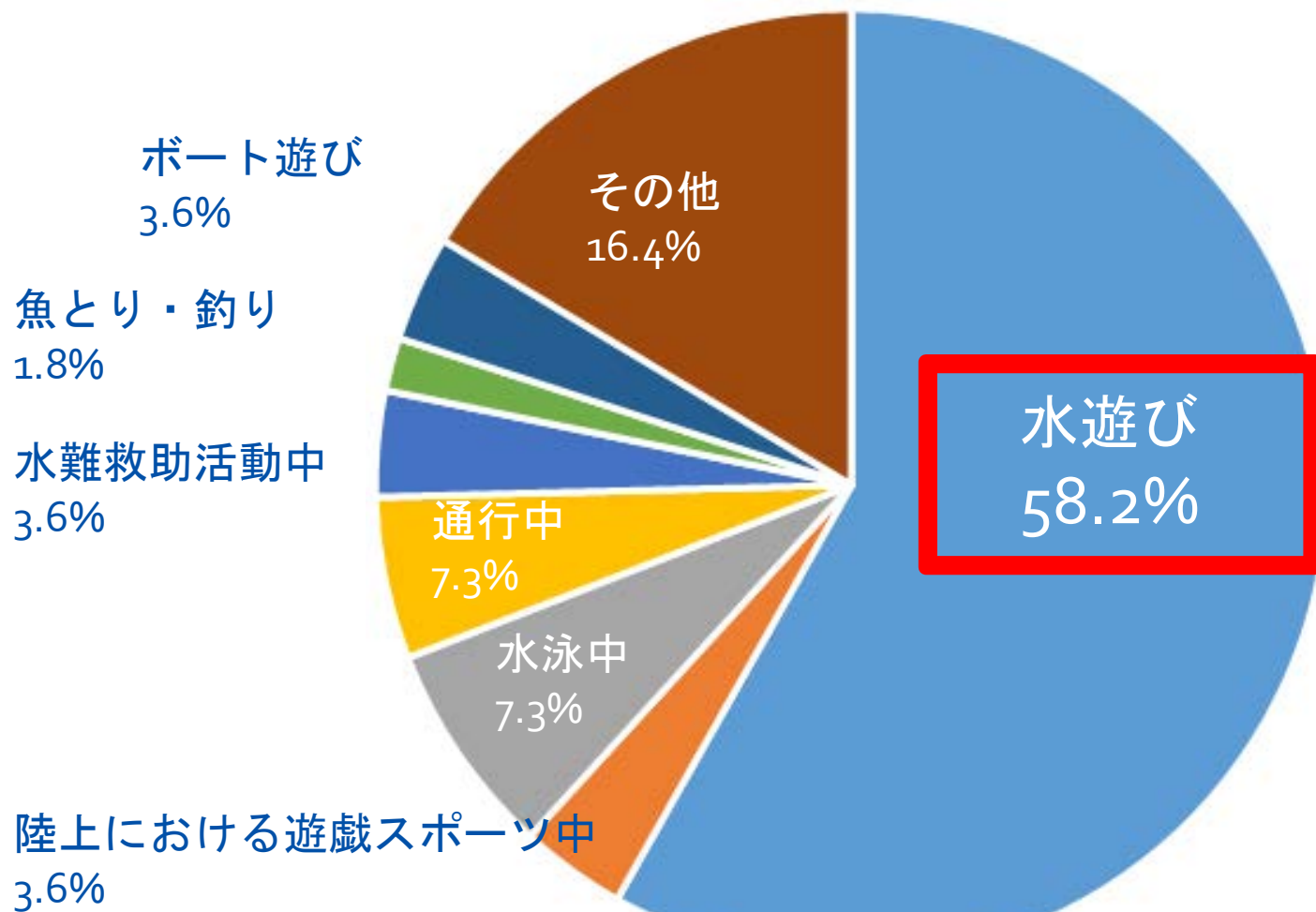
死者・行方不明者 行為別(全体)

現状



死者・行方不明者 行為別(子ども)

現状



水難事故の現状 まとめ

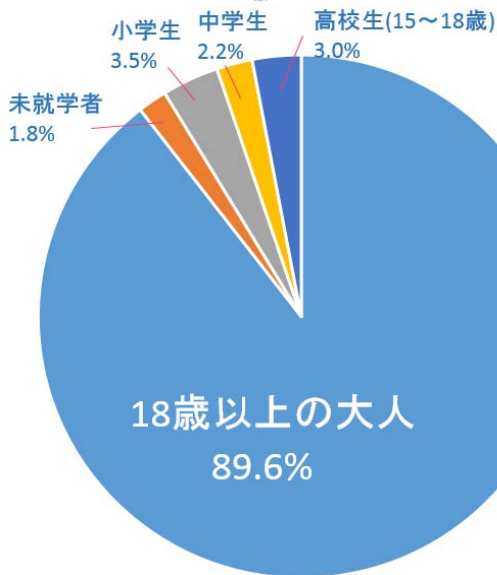
現状



大人は
海釣り

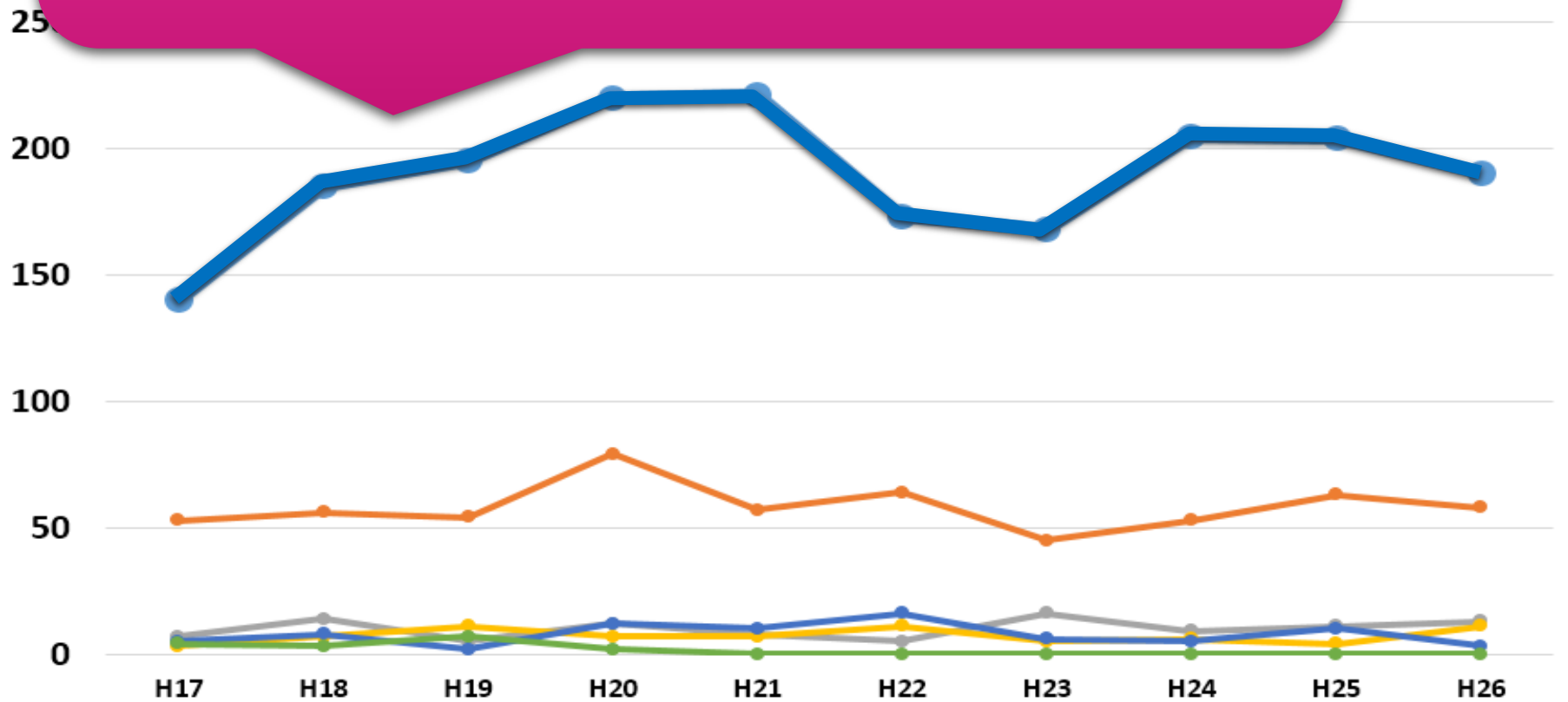


子どもは
川遊び



死者・行方不明者の9割は大人！
大人へのアプローチは急務！

大人の魚とり、釣りの原因で
最も多いのが“海中転落”

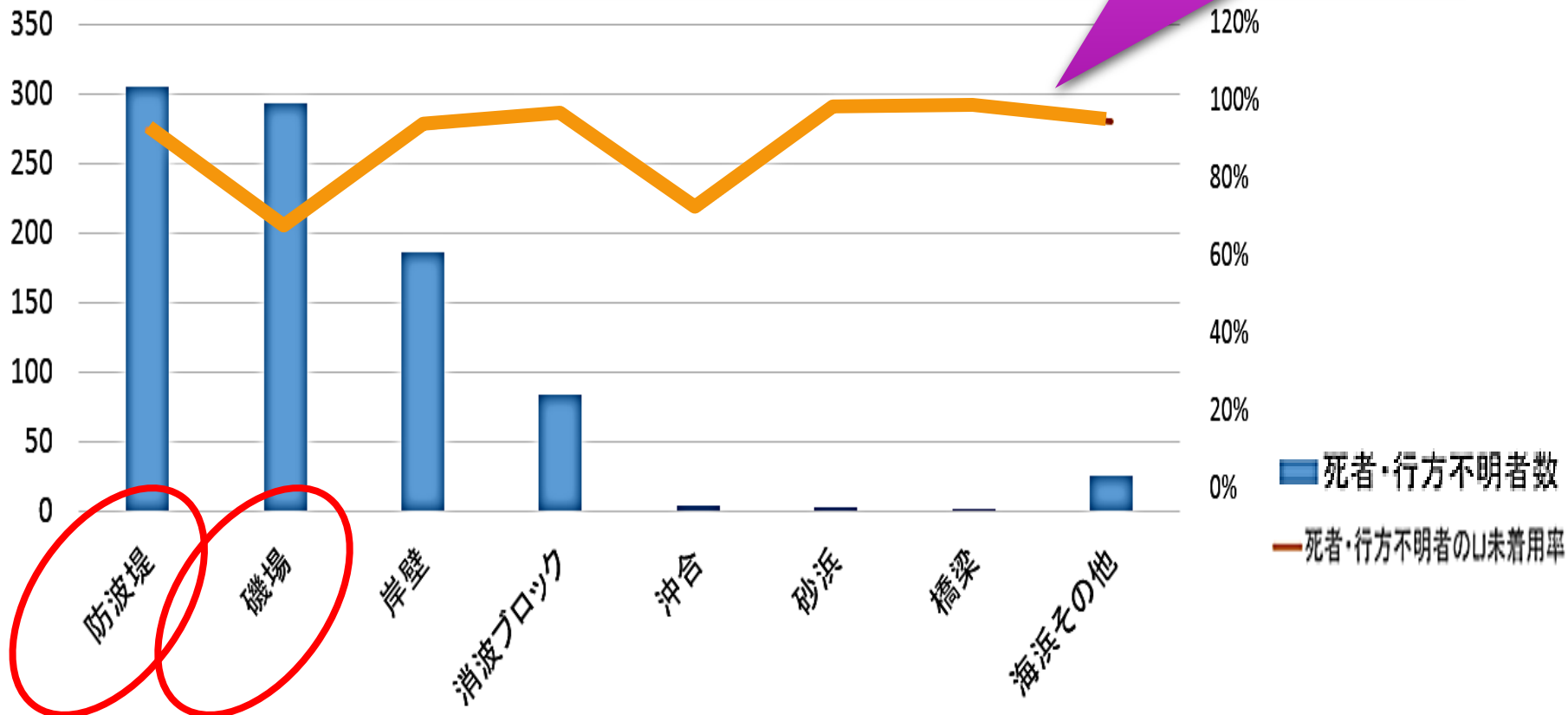


● 海中転落 ● 帰還不能 ● 負傷 ● 病気 ● 溺水 ● その他

大人の海釣り(場所)

現状

ライフジャケット未着用者がほとんど



子どもの川遊び

現状

幼児～小学生は河岸からの転落事故、
中学生は遊泳中の事故が多い。(河川財団の統計より)



- ① 転落については、
ライフジャケットの着用。
- ② 子どもに状況判断と失敗
をさせる教育の徹底。

子どもの頃からの
ライフジャケットを着用する教育、
習慣づけが

水難事故をゼロに近づける
手段の1つであると考えられる。

事例調査結果①

現状

河川財団

- ・ “子どもの水辺サポートセンター” の設立
- ・ 学校や市民団体に対する支援

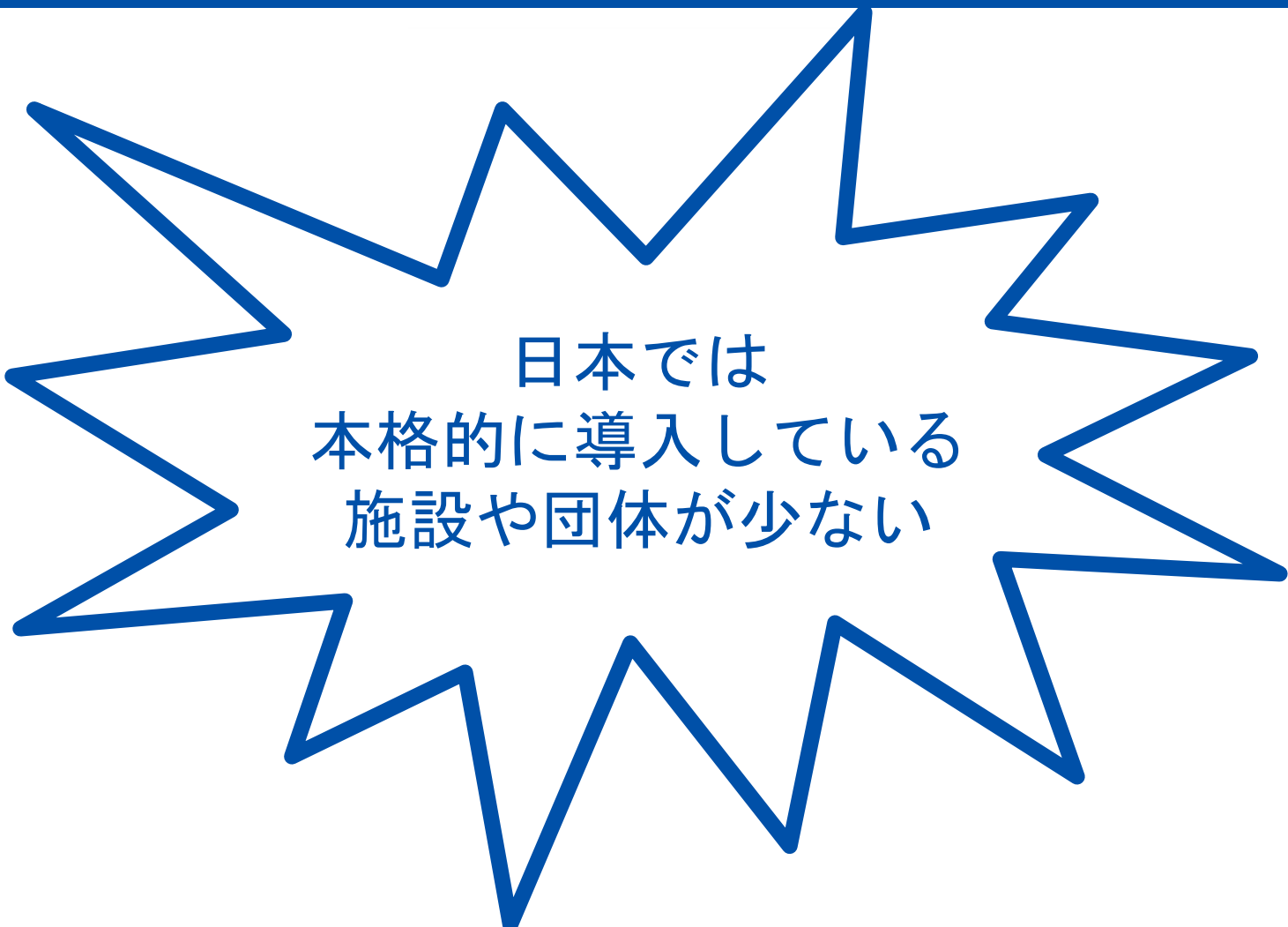
B&G財団

- ・ 海洋センターや海、河川での講習会
- ・ 指導者育成

事例調査結果②

WATER WISE PROGRAM

現状



日本では
本格的に導入している
施設や団体が少ない

問題の所在

長期的政策：子どもの川遊びへのアプローチ
(キーワード：教育)

水泳授業の指導要領の見直し

水辺の安全についての知識を持つ指導者の派遣

短期的政策：大人の海釣りへのアプローチ
(キーワード：ライフジャケット)

ライフジャケット着用の啓発

「釣りstation」の設置

長期的政策①(子どもの川遊び)

キーワード：教育

提言

水泳授業の指導要領の見直し

泳法を
身につける

河川で状況判断が
出来る能力と
技術を習得



- ①授業数の1/4は河川で授業を行う。
- ②ライフジャケットは必須。
全ての子どもが所持している状況。

長期的政策②(子どもの川遊び)

キーワード：教育

提言

水辺の安全についての知識を持つ指導者の派遣

学校の教員

```
graph TD; A[河川財団の学校支援活動] --> B(学校の教員); C[B&G財団の指導者] --> B;
```

河川財団の
学校支援活動

B&G財団の
指導者

長期的政策②(子どもの川遊び)

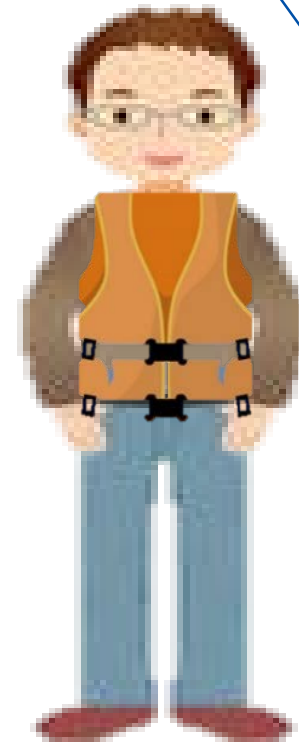
キーワード：教育

提言

流れが速いな...
今日はやめておこう...



自分は泳げるから大丈夫
なんて思わない!



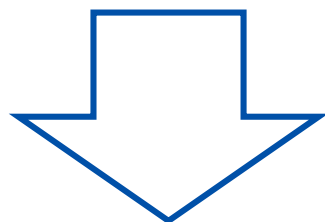
短期的政策①(大人の海釣り)

キーワード：ライフジャケット

提言

ライフジャケット着用の啓発

公益社団法人AC JAPANでのCM放映



運転免許センターや教習所など、多くの大人が足を運ぶ場所でも、危険性を周知させる映像の放映



短期的政策②(大人の海釣り)

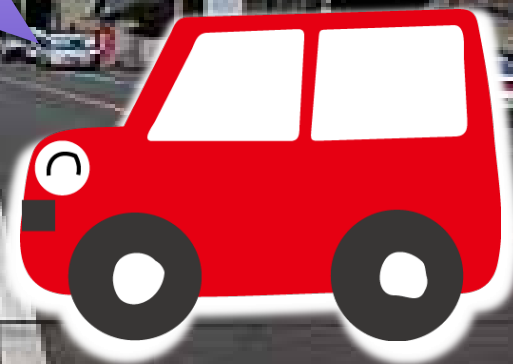
キーワード：ライフジャケット

提言

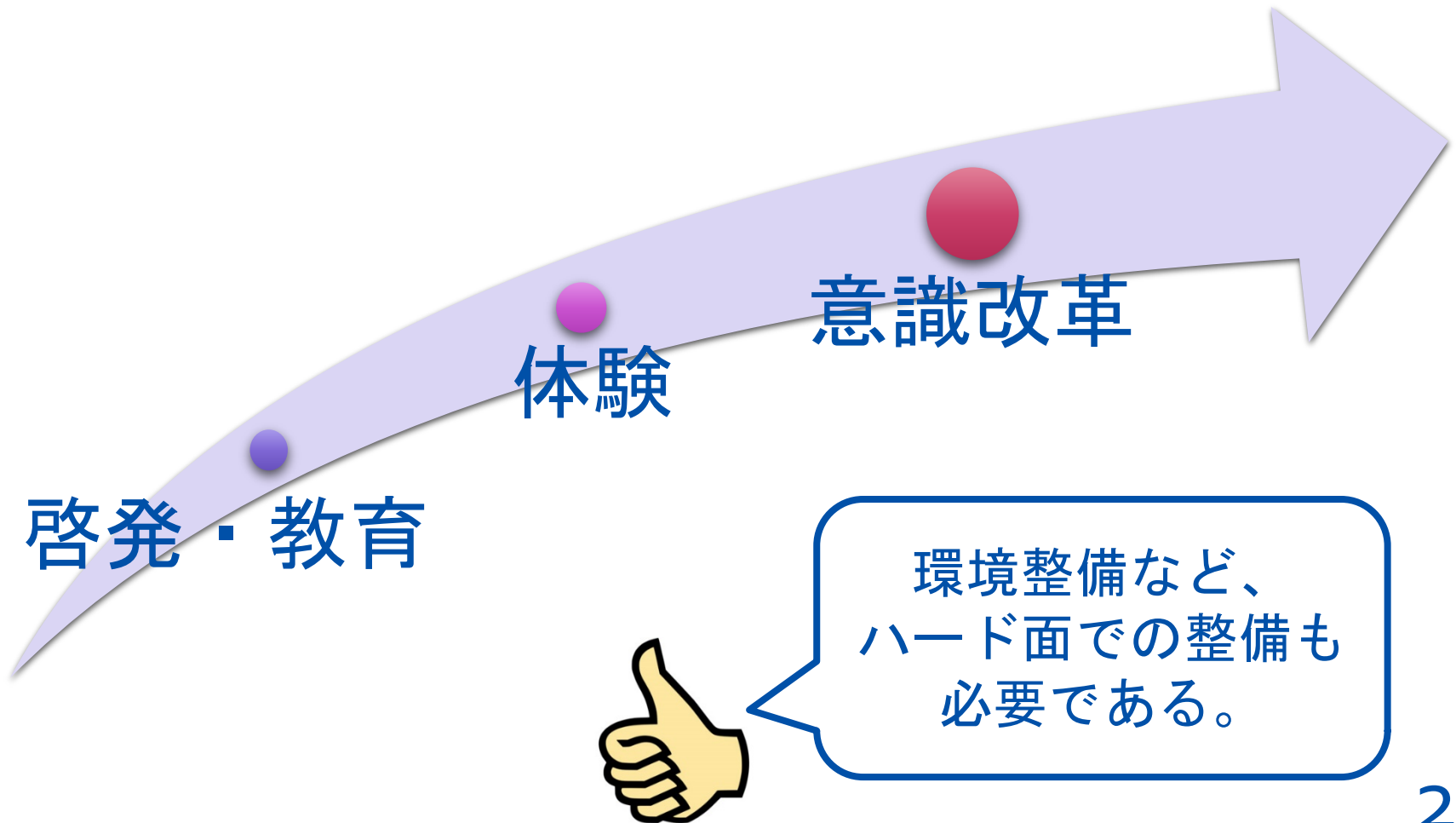
「釣りstation」の設置

- ・周知の次は、実際に装着してもらうことが重要。

- ①ライフジャケットの積載
- ②釣り人への指導
- ③パトロールも兼ねる



まとめ



参考文献

- ・ 平成26年度 釣り中の事故発生状況(海上保安庁)
www.kaiho.mlit.go.jp/mission/h26-fishing.pdf
- ・ 平成26年中における水難の概況(警察庁)
www.npa.go.jp/safetylife/chiiki/h26_suinan.pdf
- ・ 河川財団 www.kasen.or.jp/
- ・ B&G財団 www.bgf.or.jp/
- ・ 公益財団法人 A C ジャパン <https://www.ad-c.or.jp/>
- ・ 吉田嗣治・谷健二・久保和之・片岡直樹(2003)
ウォーターワイズプログラムの実践.
- ・ 野沢巖(2009) 小中学校におけるライフジャケット体験学習についての一考察.

水辺における身体活動の場が、
より安心して安全なものに
なることを期待して...

